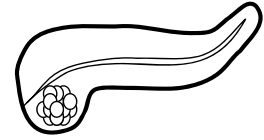
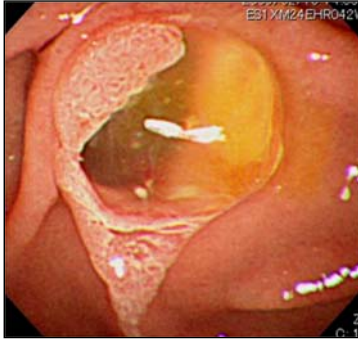


膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)とは？

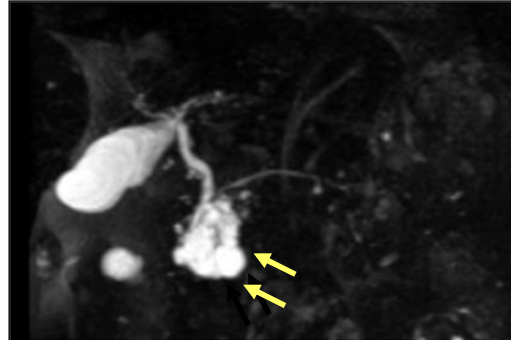
IPMN; intraductal papillary mucinous neoplasm



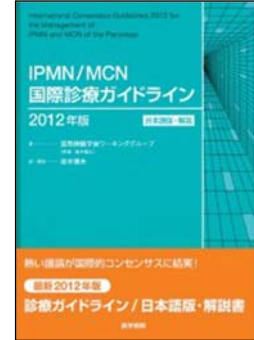
- ・粘液産生に伴う膵管拡張を特徴とする膵腫瘍。
(ぶどうの房状の膵管拡張で、画像で捉えやすい)
- ・良性腫瘍であることが多いが、IPMN自身も癌化する。
- ・3~10%に、IPMNとは別の場所に膵癌を合併。
- ・20~40%に、他臓器癌を合併。



内視鏡で確認された十二指腸乳頭からの粘液排出像。



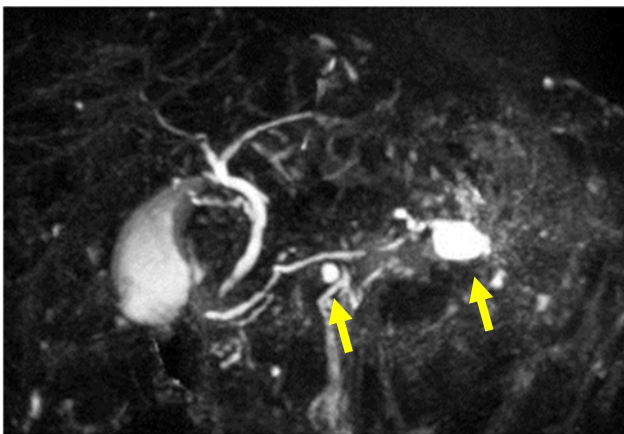
MRIでの分枝膵管の拡張を示すIPMN



世界的に注目され始めた

文部科学省特別経費プロジェクト:膵癌早期発見推進事業 資料 九州大学大学院 医学研究院 臨床腫瘍外科

九州大学でのこれまでの取り組み

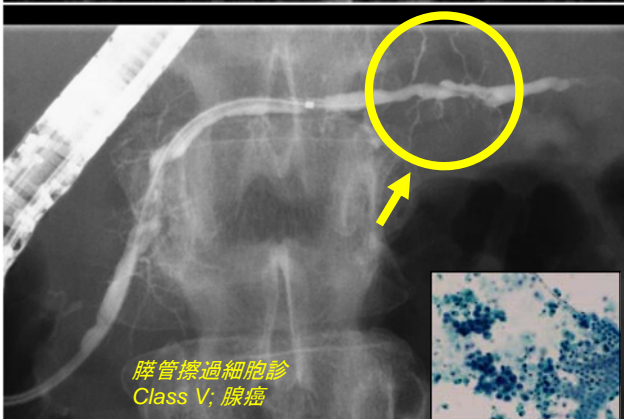


膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)

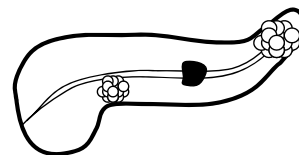
- ・世界で初めてIPMN 併存膵癌を報告
分枝型の約10%に膵癌が発生
- ・併存膵癌の40%が早期の癌
80%以上が切除可能



・IPMNを膵癌の高危険因子として精密検査を行うと、効率よく早期膵癌を発見できる可能性がある



膵管擦過細胞診
Class V; 腺癌

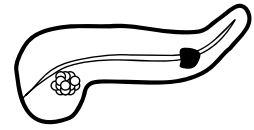


文部科学省特別経費プロジェクト:膵癌早期発見推進事業 資料 九州大学大学院 医学研究院 臨床腫瘍外科

全国多施設共同 IPMN 前向き追跡調査(平成25年～平成31年)
(早期膵癌発見推進事業の一環として行います)

- ・分枝型 IPMN の真の併存膵癌合併率は？
- ・半年毎の経過観察が膵癌の早期診断に寄与するか？

多施設共同前向き調査による**高いレベルのエビデンス**を国内外へ向けて発信

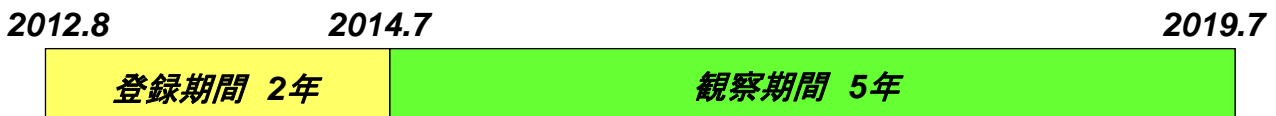
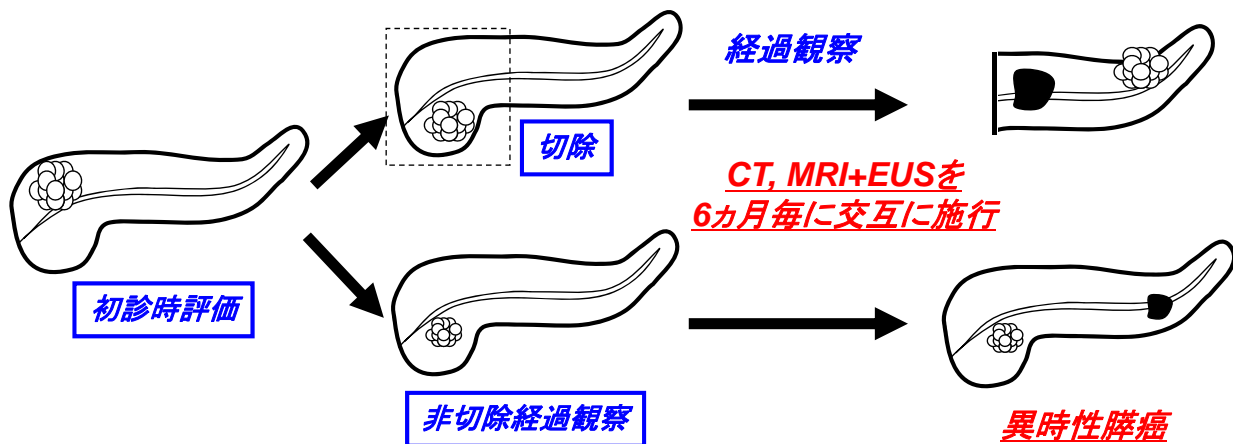


(いずれも九州大学が中心に監修)

膵癌の治療成績向上を目指す

文部科学省特別経費プロジェクト:膵癌早期発見推進事業 資料 九州大学大学院 医学研究院 臨床腫瘍外科

分枝型 IPMNの前向き追跡調査



計7年間

(全国70施設が参加、2,000例以上の登録が目標)

文部科学省特別経費プロジェクト:膵癌早期発見推進事業 資料 九州大学大学院 医学研究院 臨床腫瘍外科